

天候不順な日が続いておりますが、東日本大震災に見舞われた方々の早い復興をお祈りしています。

さて私ですが、私は昨年の4月、前任者のあとを受け、松林分館交流会の会長に就任しました。任期は一年ですが今年度も引き続き役を承っております。

昨年就任したとき、「サポーター制度」というものを取り入れました。これは松林では会長一人、副会長二人、会計監査一人、公運審委員一人で会を運営しているのですが、サポーターという名のもとに、役員を助ける、いわゆるサポーターになっていただき、多くの意見をとり入れることにより、より健全な交流会の運営をしています。ために役を付けてもっております。

三役を引き受けるにはちょっと荷が重い、だとサポーターなら引き受けても良いという位置づけで参加してもらっています。現在4名の方がサポーターとして活躍されています。

年度当初に作成した年間計画に基づき、交流会の議題決めをはじめ、「流しそーめんまつり」、「バス研修」、今年31回目を迎える「だれでも」

なんでも展」、「公民館のつとめ」更に「研修会のテーマ」などに向け、役員、サポーターで議論しあい、実行委員会で語り、効率よく物事を推進していくことを目指しています。

今年度の第一回の交流会では東日本大震災について私達で何が出来るか議論しました。いろいろな意見が出ましたが「義援金を送ろうよ」に決まりました。

小額ですが、だれでもなんでも展で得たお金の一部を切り崩して送りました。このお金が少しでも役に立ってくればと願っています。

「松林丸」と言う船の船長を任せられ、公民館で活躍されているサークルの皆さんがより楽しく充実できる時間帯を過ごすことが出来るように微力ながら舵取りをしていきたいと考えております。



松林分館では、「福生アマチュアマジッククラブ」の代表です

松林分館だより syourin

福生市武蔵野台 1-15-1

電話 552-3624

お楽しみに!

だれでもなんでも展

10月15日(土)

16日(日)

今年のテーマ

「松林で地域の

絆をふかめよう」

今年も実行委員会を設け、準備は、着々と進んでいます。

サークル参加者の申し込みは終了しました。個人での参加は9月1日から受け付けます。

また、模擬店のお手伝いをして下さる方を大募集しています。

松林分館の節電

松林分館では、東日本大震災を受けてから一層、電気などエネルギーの節約を工夫し、推進しています。

☆室内温度は、28度に設定しています。☆節電の呼びかけを掲示しました。☆蛍光灯の本数を減らしました。☆冷房時以外は、自動ドアの電源を切っています。☆「ゴーヤのグリーンカーテン」を作りました。



今年もゴーヤが、すくすく成長しています

保育室利用者交流会で収穫祭を開催!

7月5日に松林保育室交流会を行いました。



松林分館には、現在8サークルの保育室利用者サークルがあり、年に数回交流会を行っています。今回は、「だれでもなんでも展」の参加等について話し合いました。その後は、お楽しみ収穫祭です。参加者は、大人13人、子ども18人でした。

松林分館では、子ども達に身近な野菜やくだもの育つ様子をみることで、食べ物に関心を持ってもらおうと、毎家庭の隅に小さな「畑」を作っています。これは、会館管理業務をしている方をお願いしています。収穫祭は、食べ物の大切さ、育てる工夫や努力を身近で感じてもらうために行なう事業です。

今回は、すももやジャガイモ、玉ねぎ等を収穫しました。梅雨の時期でしたが晴天に恵まれ、暑い日差しの中での収穫祭でした。土の中からイモやタマネギが顔をのぞかせ、砂遊びをする子どももいて、子ども達の瞳は輝き、大喜びの「じゃがいも掘り」でした。

盛夏になるとトマト、ゴーヤ、しその葉などたくさん収穫できます。事務所の受付に朝どり収穫野菜をいっぱい並べて、公民館利用者の皆さんをお待ちしています。



紫色のジャガイモもとれました。



発行・編集 福生市教育委員会
公民館 松林分館
住所 福生市武蔵野台1丁目15番地1
電話 (042) 552-3624



親子で参加しました

ゆかた着付け教室がスタートしました!
今年の七夕は浴衣で過ごそうと、17人の方が参加しました。1回目は、着物の名称や歴史、浴衣の着付けを学びました。
講師の花柳千衛堂先生からは、一人一人の持っている雰囲気、体形や骨格などにあった着方をすることが、涼しげに見える秘訣とのお話がありました。
また、昼は紺地、夜は白地の浴衣が肌に映えるそうです。浴衣の柄行は、笹の葉に流水、露草、朝顔、萩などが、伝統的な涼しげに見えるものだそうです。